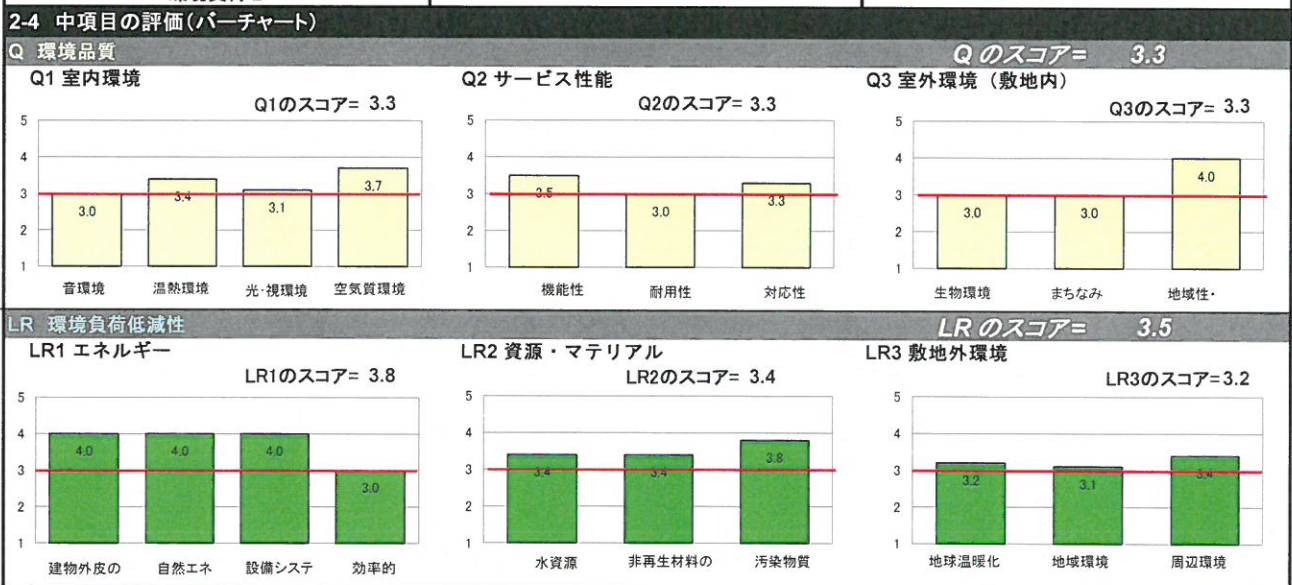
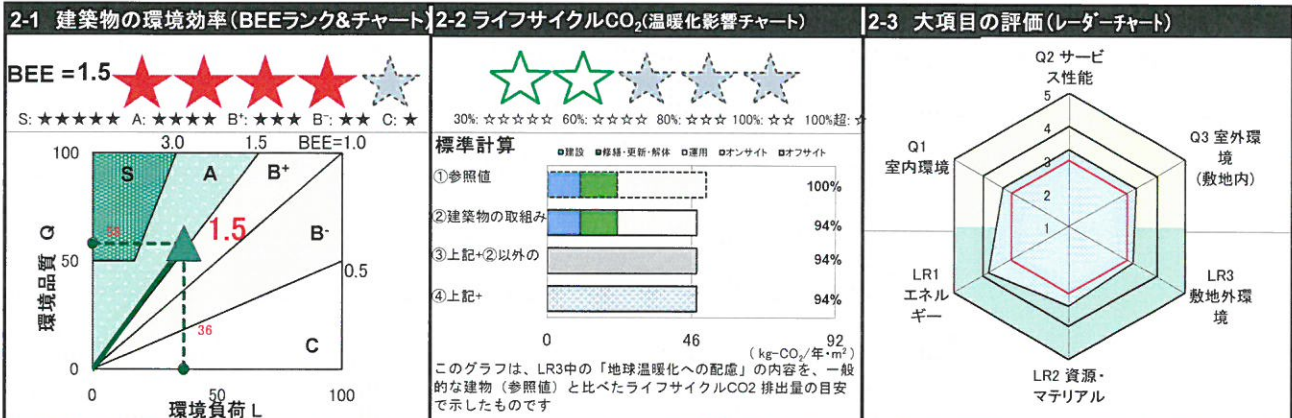


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	鳥取城北高等学校校舎・体育館耐震	階数		
建設地	鳥取県鳥取市西品治848	構造		
用途地域	第一種住居地域・近隣商業地域、準	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	学校	評価の段階		
竣工年	2019年7月 竣工	評価の実施日		
敷地面積	24,619 m ²	作成者		
建築面積	3,370 m ²	確認日		
延床面積	9,504 m ²	確認者		
			堀江司	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
エネルギー負荷の少ない建物として計画した		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外壁に断熱材を新設し室内温度を軽減した モイストプロフェッサーを採用し湿度コントロールを行っている	メンテナンスの手間が減るような高耐久性の建材を使用した	緑地や空地を確保し、通風及び周囲への威圧感軽減に配慮した 校庭へ人工芝を採用した
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
一般的な省エネルギー器具を使用し総合的な省エネルギー対策を行った 複層ガラスを採用し建物の省エネルギーに配慮した	ハロン消火器を使用していない	ゆとりをもった配置計画とし、通風・駐車場について近隣の迷惑とならないよう配慮した 建物利用者に適した数の駐輪スペース・駐車場を確保した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される